



平成31年3月29日
市議会議員 坂澤博光

平成31年第1回各務原市議会定例会で審議された内容について報告します。

1 平成31年度一般会計予算

平成31年度一般会計予算額は約488億8,000万円で、クリーンセンターの設備改良事業や幼児教育・保育の無償化、プレミアム商品券事業の実施などのため、前の年に比べると42億8,000万円、9.6%の増となりました。

この予算は、10年先、20年先の人口規模や年齢構成、社会情勢の変化を見据え、「地域のつながり」、「将来の安心な暮らしの基盤づくり」を、さらに充実、強化するために使用していきます。

2 条例改正や制定

- (1) 犯罪被害者等のための施策を推進し、犯罪被害者等の心に寄り添い、権利利益を保護し、市民が安全で安心して暮らすことができるように犯罪被害者等支援条例を定めました。
- (2) コンビニエンスストアに設置の多機能端末機で印鑑登録証明書が受け取れるように条例を改正しました。
- (3) 学校適正規模・適正配置等に関する基本計画策定について調査、審議するために委員会を設置するよう条例を定めました。

3 新規又は拡充事業のうち主なもの

(1) 空き家対策事業の推進

「空き家等発生の予防の推進」「空き家等の適正管理の推進」に加え、「特定空き家等に対する措置」を一層推進します。特定空き家等に対しては、「各務原市特定空き家等審査会」に意見聴取の上、法に基づいた行政措置を行います。

(2) 成年後見支援センターの設置

消費者被害や虐待などから認知症高齢者や知的・精神障害者の生命、身体、財産等の権利を守るため、総合福祉会館内に「成年後見支援センター」を設置し、成年後見制度の普及・促進や相談支援体制を整備します。

(3) 認知症カフェ事業の拡充

市内で認知症カフェを運営する団体に対して、開催場所の紹介やイベントへの参加などの支援を行います。認知症の方やその家族が集い、悩み相談や専門職からの助言、地域住民との交流が可能な場の拡充を図ります。

(4) コミュニティスクール事業の推進

地域・学校・家庭が連携し、義務教育9年間を見通した子供の成長を支援するため、中学校区単位で学校運営協議会を設置し、コミュニティ・スクール事業をします。平成31年度は、6中学校区で完全実施し、2中学校区で立ち上げの準備をします。

(5) 基礎学力定着事業の拡充

中学生対象の「ららら学習室（ジャンプ）」を6から8教室に拡充し、小学生4～6年生を対象に「ららら学習室（ステップ）」を新設し、小学3年生を対象とした「ららら学習室（ホップ）」と合わせ3段階で切れ目のない支援を行います。

(6) 生涯現役促進地域連携事業の推進

市内企業の人手不足の改善と高齢者が年齢に関わりなく活躍し続けられる生涯現役社会の実現を目指すために「各務原市生涯現役促進協議会」を立ち上げ、多様な雇用形態の導入促進や高齢者専門人材バンクの設立、各種イベントを通じて高齢者の就労マッチングを推進していきます。

(7) ふれあいバスの運航要領の改正

乗降調査、アンケート、住民説明会などの結果を踏まえ次のように改正します。

東西線の両方向5便目を廃止し、川島線の5時台の新那加駅発、市役所に向かう便に、東西線の朝夕便の1便目と2便目を稲羽線の8時台の市役所から東海中央病院に向かうに便に振り替えます。

(8) 鳥獣被害対策強化事業の推進

鳥獣による深刻な農業被害に対して、捕獲体制を強化するため、従来の対策に加え、被害防止計画に基づく捕獲、防護柵の設置等といった鳥獣被害対策の実践的な活動を行う「鳥獣被害対策部隊」を設置します。

(9) 防災備蓄倉庫整備事業の推進

防災備蓄品の保管及び支援物資受け入れ態勢整備のため、防災備蓄倉庫（設計）×1棟、二次避難所にコンテナ式防災備蓄倉庫×7基を設置します。

(10) マンホールトイレ整備事業（設計）

総合地震対策計画に基づき、一次避難所となっている市内小中学校18校のうち、下水道が接続されている14校にマンホールトイレを設置するための設計をします。

(11) JR各務原駅トイレ整備事業

JR各務原駅の待ち合い、ふれあいバス等との乗り継ぎ環境改善のため、駅敷地内にトイレ（男性用×1、女性用×1）を整備します。

今回は紙面の関係からスパークの一般質問を除き、市政報告会にて報告します。

第25回市政報告会

とき：平成31年4月27日（土）13時30分から約1時間半

ところ：雄飛ヶ丘公民館（那加雄飛ヶ丘町12-15）

連絡先：各務原市那加昭南町 97-1-201 坂澤博光

電話&FAX：058-371-1270 携帯電話：090-7026-9861

Eメール：hir_skzw@d1.dion.ne.jp